

## CVS統計年間動向(2017年1月～12月)

本統計は JFA 正会員 8 社を対象としている。

### 《売上高》

#### ①全店ベース

年間売上高は 10 兆 6,975 億円(前年比+1.8%)となり、前年比プラスで推移。

#### ②既存店ベース

年間売上高は 9 兆 4,738 億円(前年比-0.3%)となり、前年比マイナスで推移。

### 《店舗数》

12 月末現在の店舗数は 5 万 5,322 店(前年比+3.2%)となり、1,694 店の大幅な増加となった。

### 《来店客数》

#### ①全店ベース

2 月、8 月、10 月に前年割れとなったものの、年間では、前年比プラスで推移。年間来店客数は 173 億 327 万人(前年比+0.7%)となった。

#### ②既存店ベース

年間では、前年比マイナスで推移。年間来店客数は 154 億 9,208 万人(前年比-1.8%)となった。

### 《客単価》

#### ①全店ベース

年間平均客単価は 618.2 円(前年比+1.1%)となった。

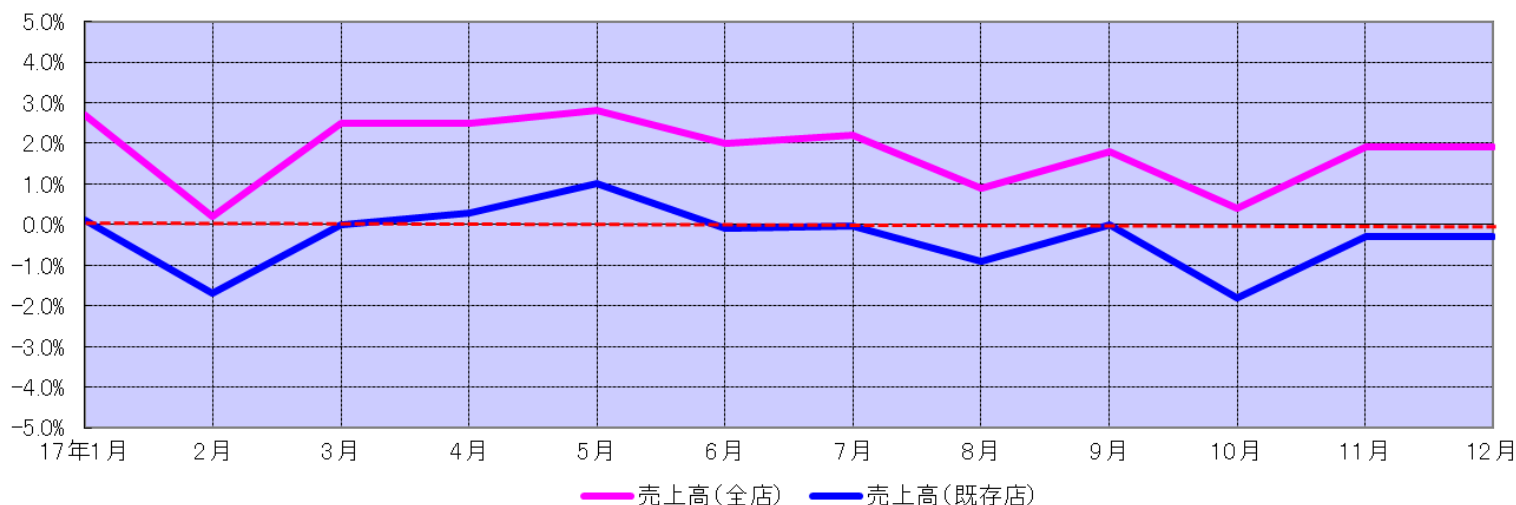
#### ②既存店ベース

年間平均客単価は 611.5 円(前年比+1.5%)となった。

2017 年は、年間では、店内調理品等のカウンター商材や弁当、惣菜、調理麺、調理パン、サラダ等の中食、デザート、冷凍食品等が好調に推移したことから、全店・既存店ともに客単価が増加した。背景には、ライフスタイルの多様化(少子高齢化の進行、単身世帯や共働き世帯の増加等)等による食生活の変化(食の外部化、健康志向、嗜好の多様化等)に伴い、顧客のニーズに応えた商品の品揃えを充実したこと等が考えられる。

一方で、他業態等との競争が激化したことに加え、2 月はうるう年の反動減、10 月は台風の上陸等による天候不順による客数が減少したこと等から既存店売上高に影響を及ぼした。

売上高(全店・既存店)伸び率推移



客数&客単価伸び率推移

